

令和7年度第2回大阪市建設事業評価有識者会議 修正箇所対比表（事業再評価：臨港鉄道整備事業（北港テクノポート線））

【資料4-1】

修正前		修正後		備考
頁	内容	頁	内容	
P.10	<p>【整備効果についての補足的な指標】</p> <p>【来場者想定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夢洲第1期開発後：2,000万人/年 ・ 夢洲第2期開発後：3,200万人/年 ・ 夢洲第3期開発後：3,500万人/年 	P.10	<p>【整備効果についての補足的な指標】</p> <p>【来場者想定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夢洲第1期開発後：2,000万人/年 ・ 夢洲第2期開発後：3,200万人/年 ・ 夢洲第3期開発後：3,500万人/年 <p>※来場者について、「夢洲まちづくり構想（H29.8）」において、第1期約1,500万人/年、第2期約2,700万人/年、第3期約3,000万人/年と想定されており、その後、第1期の来場者については「大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画(R7.9届出)」において約2,000万人/年と想定されたことから、第1期分の来場者については更新を行い、各開発段階で上記のとおりと想定した。</p>	・ 来場者想定について、根拠を記載
P.15	<p>残事業の内容</p> <p>夢洲駅まで 夢洲駅南西出入口(工事内容:掘削、コンクリート打設等) 残事業費:3億円 ※幅員30mのうち、3m分の費用を、鉄道施設として最低限必要な幅員分として、本鉄道事業により負担し、残り27m分の費用は、夢洲まちづくりに係る円滑な人流のための駅空間確保に必要な幅員分として、開発者負担(港営事業会計)としている。</p> <p>夢洲駅北西出入口エレベータ(工事内容:設備設置、配線等) 残事業費:1億円</p> <p>合計 残事業費:4億円</p>	P.15	<p>残事業の内容</p> <p>夢洲駅まで 夢洲駅南西出入口(工事内容:掘削、コンクリート打設等) 残事業費:3.0億円 ※幅員30mのうち、3m分の費用を、鉄道施設として最低限必要な幅員分として、本鉄道事業により負担し、残り27m分の費用は、夢洲まちづくりに係る円滑な人流のための駅空間確保に必要な幅員分として、開発者負担(港営事業会計)としている。</p> <p>夢洲駅北西出入口エレベータ(工事内容:設備設置、配線等) 残事業費:1.0億円</p> <p>合計 残事業費:4.0億円</p>	・ 残事業費について、小数点第1位まで記載